

令和3年度

校長室だより10月号 No.6

宝達志水町立押水第一小学校 R3.10.25



「笑う門には福来たる」という諺があります。「門」は「もん」ではなく「かど」と読みます。家や家族のことです。この諺の意味は、いつもにこやかに笑っている人の家には、自然と幸福がやってくるということです。

世界の中には笑いが幸せを運んでくるとか、笑いが健康に良いという意味の諺がたくさんあります。例えば西洋には「幸福は陽気な門からやってくる」とか「笑うと太る」などの諺があります。日本には「笑いは人の薬」という諺もあります。誰も笑いが大切だと感じていましたが、なぜ笑いがよいのかはあまり詳しくわかっていませんでした。ところが近年になって笑いについての科学的な研究が進んで、

笑いとは健康に関する諺が医学的にも確かめられてきました。

笑うとナチュラル・キラー細胞が活性化し癌をやっつけます。また、免疫力が向上して関節リウマチが改善するそうです。さらにはストレスが軽減し脳機能も活性化するそうです。

ところで、本来、笑うとはどういうことなのでしょう。難しく言うと「嬉しい時や楽しい時に声を出したり顔の表情を和らげたりすること」です。この地球上にたくさん生物がいますが笑うことができるのは人間だけのようです。笑いは人間の進化の中で生きていくために欠かせないものとして生まれ、受け継がれてきたものです。なぜなら、人間は生まれてから家族や学校、社会の中で生きています。一人では生きていくことができません。そこで、よりよい人間関係を保つためのコミュニケーションとしての笑いが生まれたようです。

私は、子どものころからこの諺を耳にしました。そして、この言葉が口癖になっていました。とても素晴らしい言葉だと思っています。ところが、最近、ふと、「忙しい」とか「急がないと間に合わない」とかばかり言っている自分に気づく時がよくあります。また、思い出してみると心の底から笑ったり、感動したりしたことが少なくなってきたように思います。悲しいことです。もしかすると「嬉しい時」や「楽しい時」をどこかに忘れてしまったのかもしれません。あるいは、そういうことを感じる心の働きが弱ってしまっているのかもしれません。これは、大変なことです。

しかしながら、最近の児童の皆さんが学校行事で頑張っている姿を見るととても温かい気持ちになります。運動会を成功させるために力を合わせて頑張る姿、マラソン大会に向けて長休みに一生懸命練習する姿、音楽集会に向けて学年ごとに一生懸命に頑張っている姿、それら一人一人の努力が一つにまとまり、やがて感動の花でいっぱいになると思います。

4月の初め、各学級担任の先生を通じて皆さん一人一人にお願いしていた「自立 責任 感動・感謝」の実を結ぶことができるようになったことを目の当たりにすることができ、自分が忘れかけていた「嬉しい時」「楽しい時」を思い出させてもらえたように思います。児童の皆さんがお互いに励まし合いながら笑顔で頑張ることこそ、「笑う門には福来たる」の原点があります。そんな感動の花でいっぱいになる学校であり続けることを校長として願っています。

ホームページからの抜粋です。

3年生 イチジク畑見学

10月14日(木)

3年生は、前日のスーパーマーケット見学に引き続いて、今日はイチジク畑の見学に行きました。

今回も、JAはくいの方のお世話でイチジク畑の見学ができました。



ケーブルテレビ、MROテレビの取材がありました。

出発です。昨日に引き続き自家用車に乗せて頂きました。

10月になっても、まだ、たくさんイチジクがなっていました。今年もJAはくいの高嶋さんの説明を聞きました。



やっぱり自分で収穫したイチジクはおいしかったです。



今年もJAの高嶋さんには、たいへんお世話になりました。たいへんいい勉強になりました。

校内マラソン大会

10月21日(木)

校内マラソン大会を実施しました。早朝からの雨で開催するかどうか迷いましたが、思い切って実施しました。

まずは、体育館で開会式です。教頭先生のお話を聞いて、大会に向けての準備体操をしました。



1年生のスタートです。 少し肌寒い中でのスタートでした。



1年生からは、大会新記録も生まれました。



2年生のスタートです。

2年生は、落ち着いてスタートできました。

やっぱり2年生は全体的に早かったです。



1位は余裕のゴールでした。2位争いは、接戦でした。



3年生のスタートです。

ピストルの音を気にしながら、きれいにスタートしました。

1位、2位、3位と全力でゴールを走り抜けました。



4年生のスタートです。



一人一人集中してのスタートでした。

熾烈な優勝争いがあり、とても見ごたえがありました。

5, 6 年女子のスタートです。



6年生にとっては最後のレースです。緊張気味です。

トップは、とても速かったです。2位以下を大きく引き離してのゴールです。



ゴール後のリラックスタイムです。

5, 6 年男子のスタートです。



流石、高学年男子です。スピード感あるロケットスタートでした。

上位陣のラストスパートは、とても見ごたえがありました。



保護者の皆様、地域の皆様、早朝より子どもたちへのご声援ありがとうございました。

また、森本地区の皆様、PTA会員の皆様には、今年度もマラソンコースを整備するにあたり、ご尽力を賜りました。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。